



水と緑のパートナー

# みどり 水土里ネット ちっぺつだより

■発行所：北海道雨竜郡秩父別町 1536 番地  
秩父別土地改良区  
【地区面積 3,944ha 組合員数 230 人】  
■発行者：理事長 小西 梅太郎



国営雨竜川下流地区着工祝賀会で主催者挨拶する小西理事長（同事業促進期成会会長）

## もくじ

発刊のご挨拶	2 P	国営総合農地防災事業雨竜川下流地区	11 P
通常総代会	3 P	雨竜川下流地区着工祝賀会挙行	12 P
平成 30 年度収入支出予算、 賦課金等の額、徴収時期及びその方法	4 P	春の水天宮祭並びに通水式挙行	13 P
平成 30 年度一般賦課金の内訳、監事意見	5 P	表彰受賞	14 P
秩父別町活動組織総会、役員改選	6 P	水路事故防止啓発	15 P
管理区総会、管理区長紹介	7 ~ 8 P	土地改良区からのお願い	16 P
平成 30 年度土地改良事業実施計画	9 ~ 10 P	総代選挙、役員改選、新規職員紹介	17 P
		事務機構図、職員採用のお知らせ	18 P



## 発刊のご挨拶

理事長

小西 梅太郎

発刊に当たり一言ご挨拶を申し上げます。一段と青葉目にしむ春のおとずれと共に、この地でも花見の時期となりました。

組合員皆様には農作業等、何かとご多用な毎日と推察いたしますが、お元気でお仕事に励んでいる事と存じます。平素から当区に対しまして暖かいご指導、ご支援、ご協力をいただき、衷心より厚くお礼申し上げる次第であります。

今年は稀に見る大雪であり、幌加内町では最深324センチと道内の記録を48年ぶりに更新いたしました。道は、昨年11月1日から今年3月末まで、雪による人的被害状況を発表、前年

比1.9倍となる346人が事故にあいましたし、農業被害も多発し、被災者に心からお見舞い申し上げたいと存じます。

今、国会開会中ですが、農政に付いての、議論はまったく目立ちません。農政の大転換期が進行している中、一連の農業改革を始めとする検証や、TPP11、安倍総理が合意した米国との新たな協議は、日米のFTAに進行するのか、いずれにしましても、TPP水準以上の譲歩は、先の国会決議を無視するものであり、到底許されるものではありません。また、懸案の米政策は平成18年より生産調整配分に行政関与がなくなり、情報託に応え、今後の職員体制も充

比1.9倍となる346人が事故にあいましたし、農業被害も多発し、被災者に心からお見舞い申し上げたいと存じます。

さらに、農水省は農業関連9法案を国会に上程し、すでに閣議決定は見ておりますが、その中には、土地改良区見直し法案が含まれております。長年に渡り要請して参りました成果がよもや、廃案となる事が無いよう

に願うものであります。

当区では、今年3地区の道営農地整備事業に取り組みます

が、総事業費11億5千500万円であります。期成会のご協力と受益者皆様と連絡を密に取りながら、夫々、組合員皆様の負

の提供だけとなりましたが、食は免れるものではありません。国が掲げる食料自給率45%は絵に描いた餅になるのか、現在は38%の自給率をTPPなど農産物の高い自由化を進めながら、どの様にして自給率を引き上げるのか、國民にしつかり説明すべきであります。

ささらに、農水省は農業関連9法案を国会に上程し、すでに閣議決定は見ておりますが、その中には、土地改良区見直し法案が含まれております。長年に渡り要請して参りました成果がよもや、廃案となる事が無いよう

に願うものであります。

当区では、今年3地区の道営農地整備事業に取り組みます

が、総事業費11億5千500万円であります。期成会のご協力と受益者皆様と連絡を密に取りながら、夫々、組合員皆様の負

の提供だけとなりましたが、食は免れるものではありません。国が掲げる食料自給率45%は絵に描いた餅になるのか、現在は38%の自給率をTPPなど農産物の高い自由化を進めながら、どの様にして自給率を引き上げるのか、國民にしつかり説明すべきであります。

分考慮して参ります。

国営総合農地防災事業雨竜川

下流地区に付きましては、平成21年頭首工下流の陥没事故から始まり、9年が経過致しました。その間4年間の調査、全体

## 通常総代会

(平成 30 年 3 月 9 日開催)

平成 30 年通常総代会が、3 月 9 日午後 1 時 30 分から当土地改良区大会議室において開催しました。

総代現員 33 名中（定員 35 名）、29 名の総代の出席を得て、議長に第 1 選挙区の田丸政彦総代を選出、議事録記名人に第 2 選挙区の板垣誠総代と第 3 選挙区の鵜飼辰徳総代を指名し、平成 30 年度収入支出予算外 17 案件について審議が行われ、提出議案を全て原案どおり可決し、午後 4 時 40 分に閉会しました。

議案第 1 号 専決処分の承認について  
議案第 2 号 平成 29 年度農林漁業資金の借入の一部変更について  
議案第 3 号 平成 29 年度第 3 回収入支出補正予算について  
報告第 1 号 監事の監査報告について  
議案第 4 号 平成 30 年度収入支出予算について  
議案第 5 号 平成 30 年度賦課金

等の額、徴収時期及びその方法について

議案第 6 号 平成 30 年度農地転用に伴う地区除外等決済金の基準額、徴収時期及びその方法について

議案第 7 号 平成 30 年度土地改良負担金償還平準化資金の借入について

議案第 8 号 平成 30 年度農林漁業資金の借入について

議案第 9 号 平成 30 年度一時借入金について

議案第 10 号 平成 30 年度役員等の報酬について

議案第 11 号 平成 30 年度積立金の処分について

議案第 12 号 平成 30 年度歳計現金の預け入れ先について

議案第 13 号 平成 30 年度農地耕作条件改善事業の実施について

議案第 14 号 定款の一部改正について

議案第 15 号 規約の一部改正について

議案第 16 号 会計細則の全部改正について

議案第 17 号 財産（土地）の処分について

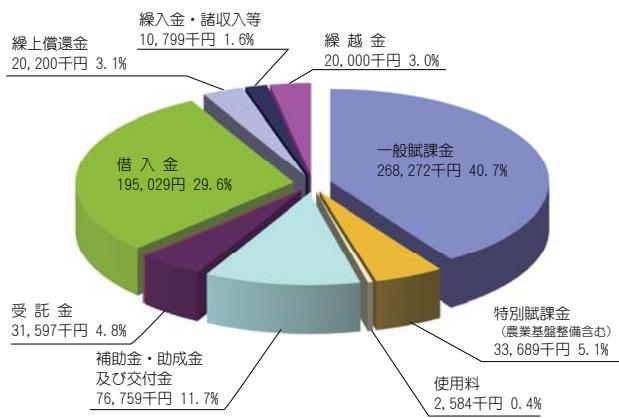


【田丸議長就任挨拶】

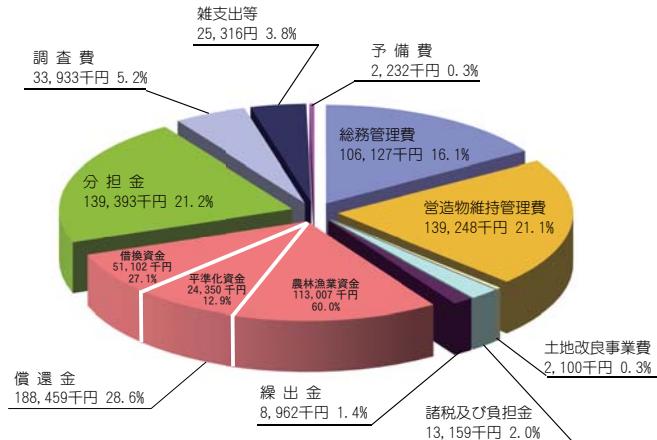
## 平成 30 年度 収入支出予算

— 予算総額 658,929 千円 —

## 収 入



## 支 出



## 平成 30 年度 賦課金等の額、徴収時期及びその方法

## 1. 一般賦課金

地区名	10a当り賦課金額			調定期日	徴収時期
	第1期	第2期	計		
A 地区	円 4,000	円 2,500	円 6,500	H30.5.1	第1期 H30. 6.21～H30. 7.20
B 地区	2,000	1,250	3,250		第2期 H30.11.12～H30.12.10
D 地区	400	250	650		
中心経営体農地集積促進事業	本年度夏期施工実施の土地（ただし、積立額を除く。）	円 34,650		H30.11.1	H30.11.12～H30.12.10
桜川第2地区	翌年度以降区画整理（整地工、暗渠排水）実施計画の土地（暗渠排水は夏期施工実施予定者に限る。）	円 500			
中心経営体農地集積促進事業	本年度夏期施工実施の土地（ただし、積立額を除く。）	円 34,650		H30.11.1	H30.11.12～H30.12.10
千秋第2一期地区	昨年度夏期施工実施の土地及び翌年度以降区画整理（整地工、暗渠排水）実施計画の土地（暗渠排水は夏期施工実施予定者に限る。）	円 500			
中心経営体農地集積促進事業	本年度夏期施工実施の土地	円 34,150		H30.11.1	H30.11.12～H30.12.10
千秋第2二期地区	翌年度以降区画整理（整地工）実施計画の土地	円 500			
農地耕作条件改善事業地区（事務費）	区画整理（定額助成×3.5%）	円 4,375		H30.11.1	H30.11.12～H30.12.10
	暗渠排水（定額助成×3.5%）	円 5,600			
地区区分	A : 田であるもの B : 田であって水利使用をしないもの ただし、転作田は除く D : 水利使用の形態が、沢がかりのもの				

## 2. 特別賦課金

地区名	期別	10a 当り賦課金額	調定期日	徴収時期	
				第1期	第2期
全地区	全期	事業費割	H30.11.1	H30.11.12～H30.12.10	

## 3. 使用料

地区名	10a当り使用料			調定期日	徴収時期
	第1期	第2期	計		
全地区	円 4,000	円 2,500	円 6,500	H30.5.1	一般賦課金（A・B・D 地区）に同じ

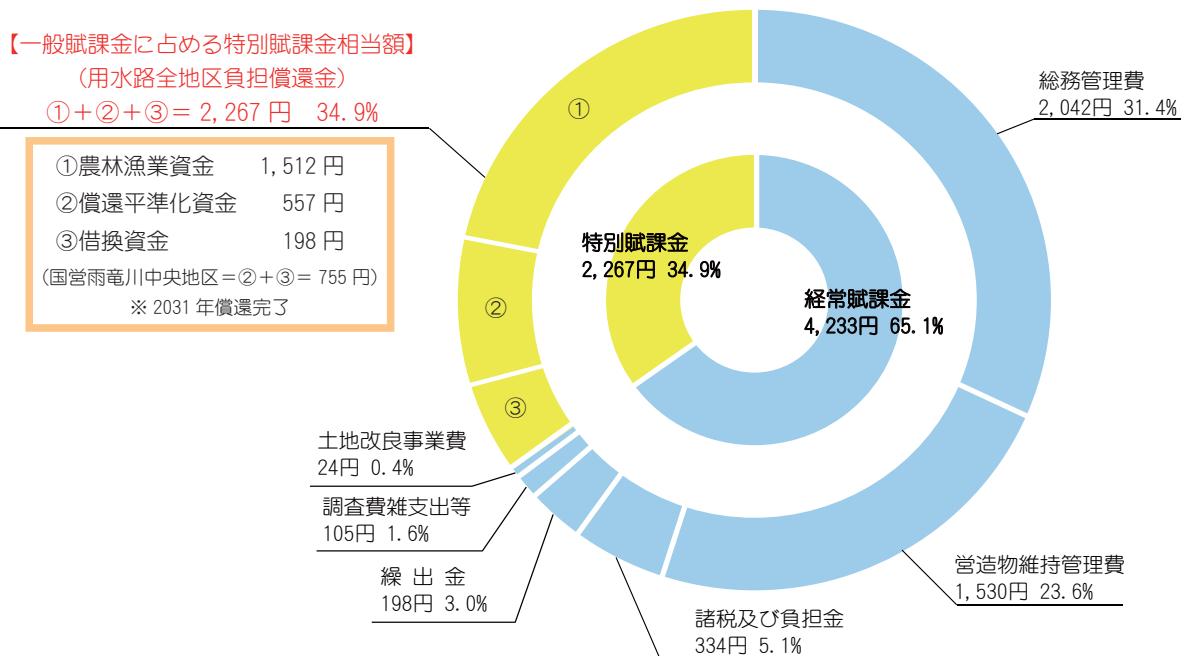
## 4. 加入金

地区別	期別	10a当り加入金		徴収方法	徴収時期
		総額	本年度		
全地区	全期	円 10,000	円 5,000	2年割賦	各年度の第2期賦課金に同じ

## 徴収方法

1. 本土地改良区において直接徴収を行う。
2. 北いぶき農業協同組合及びきたそらち農業協同組合との委託契約に基づき徴収を行う。

## 平成 30 年度 一般賦課金 (6,500 円 /10a) の内訳



◎用水路全地区負担償還金とは、国営及び道営事業で施工した末端までの全ての用水路工事に係る地元負担償還金です。

### 監事意見

現在の財務の状況でございますが、監査報告書でご報告申し上げましたとおり、2月14日、15日の両日、中間監査を実施いたしました。平成29年度一般賦課金、特別賦課金は、一期二期共に納期内に徴収をすることが出来ました。賦課金の納入は我々組合員の義務とは言え、努力下さいました組合員各位、そして徴収にご協力下さいました関係農協に、あらためて深く感謝を申し上げる次第です。

出納につきましては、2月15日在で収入5億1千640万円、支出4億7千205万円となつております。収金はなく、平成30年度へは2千万円の繰り越しを現時点で見込んでおります。2千万円を見込んでおります繰越し金ですが、道営農地整備事業桜川第2地区及び千秋第2一期地区の施工管理業務受託金、また、多面的機能支払交付金の事務受託金、これらから職員人件費を充当できることが大きな要因であります。賦課金以外の財源確保を求める、積極的に事業に取り組む理事、職員の弛まぬ運営努力に深く敬意をあらわす次第です。

なお、当区の労務管理についてですが、技術課職員においては、現在実施中の第4次道営事業の推進や施設維持管理業務を考えた時、現技術者体制では過重な負担がかかっておりますので早急に技術者職員の採用を実施いたしました。とは言ひながら、昨今、官民

の技術者確保の問題は深刻化しております。しかし、採用の募集をしても応募がないという事態が生じております。しかしながら、昨年12月1日に縁がありまして設計施工管理の経験者1名、さらには本年4月から1名の技術者を確保することができました。このことは、道営土地改良事業や施設維持管理事業に対する組合員各位の負託に応えうる最低限の技術者の配置と判断いたしますし、組織にとって貴重な財産になると確信する次第です。

また、施設の維持管理状況を考える時、著しい水利施設の老朽化は、もはや応急的な対応では間に合わなくなつてきています。その中でも特に揚水機のメンテナンスが逼迫していることです。今まで一生懸命補修をしながら頑張つてきましたが、もう耐えきれない時代が来ています。その中で、一定期間内での施設の更新が至上の課題となつて、時間的に譲ることができない更新ニーズが相当逼迫しているのではないかと感じています。

組織運営面では、総代の皆様も新聞紙上等からご承知のとおり、土地改良法が昨年の改正に引き続き、今国会でも改正法案が審議中であります。その改正の中の一つに、私が昨年の3月の総代会の監事意見で危惧していることとして、「今の総代さんは来年8月までの任期でありますから今期は総代会を開催できると思いますが、来期は総代



#### 〔監事意見を述べる山田代表監事〕

会制の存続に不安を持つてゐるところであります」と所感を述べさせていただきましたが、この改正で総代会の設置要件の緩和がなされる見込みであります。ですから、8月に皆様方総代は任期満了を迎えますが、当区においてはまだしばらく総代会の設置が可能と判断しますので、総代各位におかれましてはその責務を十分果たしていただき、土地改良区の組織決定を機動的に行っていただきます事は当然ながら、それぞれの地域と改良区のパイプ役としてご活躍下さいますようお願いいたします。

今年も春作業が始まつております。機械等には十分注意していただき、8年連続の豊穣の秋を迎えることをご祈念申しあげ監事意見とさせていただきます。

# 秩父別町活動組織総会開催

平成30年4月6日、午後5時からJA北いぶき本所3階大ホールにて「平成30年度秩父別町活動組織総会」が開催されました。総会は、88名（本人77名、委任11名）の構成員が出席、宮西貴志代表（北新農事組合）の挨拶に始まり、来賓からは高鶴副町長、小西理事長、JA北いぶき篠田組合長、商工会寺迫会長に挨拶をいただきました。

総会では、穂栄農事組合の桃野貴志氏を議長に選出し、平成 29 年度事業報告と平成 29 年度収入支出決算、平成 30 年度事業計画、平成 30 年度収入支出予算等が原案通り承認、引き続き役員改選が行われ、次の方々が役員に就任しました。

また、土地改良区は平成24年度からこの事業の事務受託を行っており、本事業は平成27年度から「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づいて実施されるようになりました。法律に基づく制度となることで、安定的な長期的計画を樹立して活動に取り組んでいただけるものと考えています。本年度も1億500万円の活動組織予算、土地改良区も活動組織の役員と連絡を密に取り、事務の遂行に万全を期す所存でございますので、引き続きよろしくご協力をお願いいたします。

## ◆秩父別町活動組織役員紹介◆

(敬称略)

役職	氏名	役職	氏名
代表	古川多喜男	幹事	遠藤大亮
副代表	東隼人	幹事	辻義春
総務	合田政志	幹事	戸村哲也
会計	永守貞司	幹事	山田賢吾
幹事	斎藤隆彦	幹事	山森誠
幹事	松本直幸	幹事	田中康雄
幹事	北守智彦		
幹事	上ヶ島良之	監査役	植田里志
幹事	得能直浩	監査役	植宮貴志



## 全管理区で総会が開催されました！

本年 2 月 2 日、小藤管理区総会を皮切りに 2 月 23 日の西栄管理区総会まで 10 管理区で総会が実施され、改良区からは理事長、職員も出席し、意見交換をしました。

今年の総会では、各管理区の役員改選（任期 2 年）が行われ、次の方々が管理区長に選出されました。（P 8）



【2月2日 小藤管理区 出席者 21/26人  
区長：佐藤忠美氏→（新）堀田雄一氏】



【2月6日 新千代管理区 出席者 15/24人  
区長：藤原博美氏→（新）馬場勇二氏】



【2月8日 東管理区 出席者 16/20人  
区長：青木良司氏→（新）樋澤雄大氏】



【2月13日 新盛管理区 出席者 16/16人  
区長：川上徳嗣氏→（新）篠田隆紀氏】



【2月14日 南管理区 出席者 16/23人  
区長：安藤敏之氏→（新）高橋裕治氏】



【2月16日 協栄管理区 出席者 17/22人  
区長：多田由紀博氏→（新）内山 淳氏】



【2月19日 北部管理区 出席者 17/29人  
区長：田丸政彦氏→(新)松永 徹氏】



【2月21日 日の出管理区 出席者 18/30人  
区長：和泉康宏氏→(新)宮本義治氏】



【2月22日 中央管理区 出席者 17/24人  
区長：佐藤克美氏→(新)菅原竹雄氏】



【2月23日 西栄管理区 出席者 15/19人  
区長：佐崎正敬氏→(新)中西伴浩氏】

## 管理区長紹介

(敬称略)

任期：平成 30 年 3 月～平成 32 年 2 月

○ 小藤管理区	○ 新千代管理区	○ 西栄管理区	○ 南管理区	○ 新盛管理区	○ 北部管理区	○ 日の出管理区	○ 協栄管理区	○ 東管理区
堀田 雄一	菅原竹雄	馬場 勇二	中西 伴浩	高橋 裕治	篠田 隆紀	松永 徹	宮本 義治	内山 淳大

◎：管理区長会会長 ○：管理区長会副会長

## 平成 30 年度土地改良事業実施計画

事業名	地区名	工期		総事業費 (千円)	29年度まで (千円)	本年度 (千円)	31年度以降 (千円)
		着工	完了				
国営総合農地防災事業	雨竜川下流地区 (八丁目頭首工)	29	38	9,500,000	100,000	310,000	9,090,000
道営農地整備事業 (経営体育成型)	桜川第 2 地区	26	34	3,350,000	1,142,980	481,000	1,726,020
	千秋第 2 一期地区	28	36	1,868,000	269,500	319,000	1,279,500
	千秋第 2 二期地区	29	36	2,030,000	105,200	355,000	1,569,800
団体営農地耕作条件改善事業	秩父別 2 地区 (用水路・区画・暗渠)	30	30	39,259		39,259	
団体営施設維持管理適正化事業	40期生揚水機オーバーホール	30	30	22,000		22,000	
土地改良区営幹線・支派線維持工事	土地改良区 幹線・支派線用水路	30	30	16,600		16,600	
土地改良区営農道維持工事	土地改良区 (盛土・敷砂利)	30	30	6,339		6,339	

## ◎道営事業について

- (1) 3 地区の割当予算 1,155,000 千円は地元要望事業費 1,470,000 千円の  $\approx 79\%$
- (2) 本年度夏期施工は、桜川第 2 地区 15.7ha、千秋第 2 一期地区 8.4ha、千秋第 2 二期地区 7.3ha

## ◎農地耕作条件改善事業について

- (1) 定率 (55%) 助成工事 = 東山第 2 幹線第 3 号支線改修 L=60m
- (2) 定額助成工事 = 区画整理 2.6ha 暗渠排水 7.9ha

## ◎維持管理適正化事業について

- (1) 滝の上揚水機 (東山第 2 幹線系統) オーバーホール

## ◎農道維持工事について

- (1) 盛土以外の 10 路線の敷砂利は職員が実施
- (2) 期間指定で資材置き場からの砂利提供は、従来通り実施 (2t ダンプ 1 台 / 1 人)  
なお、提供した砂利は農道補修以外には使用しないこと。



【暗渠排水工事】



【整地工事】



【千秋第 2 地区期成会総会 3 月 28 日開催 会長：熊谷 勝】



【桜川第 2 地区夏期施工（整地工事）】



【桜川第 2 地区期成会総会 3 月 27 日開催 会長：小西喜明】

## 国営総合農地防災事業雨竜川下流地区

理事	理事	理事	副会長	会長	役職
JA北いぶき組合長 篠田雅	妹背牛町長 田中一典	秩父別町長 神戸典	土地改良区副理事長 境谷博之	土地改良区理事長 小西梅太郎	所属・氏名

### 促進期成会役員（平成26年3月18日設立）

国営総合農地防災事業雨竜川下流地区促進期成会（会長 小西理事長）は、3月1日、秩父別温泉ちっぷ・ゆう&ゆで、平成29年度着手となりました「国営総合農地防災事業雨竜川下流地区」の着工祝賀会を開催いたしました。

祝賀会当日は道内各地で暴風雪災害警戒対策本部が設置されるほどの大雪の悪天候のため、北海道開発局札幌開発建設部半谷次長と菅生農業計画課長は欠席されましたが、同深川農業事務所の進藤所長、竹矢副所長ほか関係職員のご臨席を賜り、地元からは期成会役員、土地改良区役員の総勢33名が出席、本工事の無事故での竣工と地域農業基盤の向上及び農業経営の安定を祈願し、お祝いをいたしました。

### ○八丁目頭首工の改修

着手 平成29年度 完了 平成38年度 事業費 9,500百万円



## 国営総合農地防災事業雨竜川下流地区着工祝賀会挙行



【境谷副理事長の開会の言葉】



【竹矢深川農業事務所副所長のご祝辞】



【進藤深川農業事務所長の事業概要説明】



【神戸町長の祝杯ご挨拶】



【田中町長の万歳三唱】



【篠田組合長の閉会ご挨拶】

## 春の水天宮祭並びに通水式挙行

春の水天宮祭と通水式を5月1日、滝の上水天宮で挙行いたしました。

当日は昨年と打って変わり大変暖かい陽射しの中、土地改良区役員を始め、秩父別神戸武町長、妹背牛田中一典町長、秩父別町議会土井享議長、北いぶき農協篠田雅組合長、また北海道開発局から深川農業事務所藤井第3工事課長ら、関係者30人が参列。水天宮で神事を行った後、地区内一市三町、4000haにわたるかんがい事業がスタートいたしました。

小西理事長は「今年は雪が多く春作業特に除雪作業に皆さん、大変ご苦労されたことと推察いたします。水天宮周辺も例年より遙かに雪が多く、職員総出で雪割りを行い今日の日を迎えることができました。この先順調に田植えが進み、穏やかな気象条件に恵まれて、8年連続の豊穣の秋を迎えたい」と挨拶し、来賓を代表して神戸町長、田中町長、篠田組合長から祝辞を頂戴しました。



【水天宮祭参列者】



【都内砂防会館別館にて】

【前列左から佐藤上席理事、小西理事長、山田代表監事  
後列左から明瀬主幹、斎藤技術課長、池田総務課長】

【土地連通常総会席上で表彰された役職員】



全国土地改良事業団体連合会（全国水土里ネット）会長（二階俊博）は3月26日全国土地改良功労者等表彰式を都内で開催しました。斎藤健農林水産大臣を始め農林省幹部が臨席し、全国から多数の出席者が見守る中、本道からは、小西梅太郎理事長が全土連会長表彰を受賞しました。

## 小西理事長全国土地改良事業団体連合会会長表彰受賞

北海道土地改良事業団体連合会（水土里ネット）北海道会長（塩尻芳央）は3月29日開催した本会通常総会の席上で、平成29年度土地改良事業功労者の表彰式を行い、功労表彰で山田憲正代表監事と佐藤克行上席理事、優良職員で池田泰久総務課長、斎藤譲二技術課長、明瀬吉三主幹が表彰されました。

## 北海道土地改良事業功労者表彰受賞 土地改良事業団体連合会



【役職員全員でお祝いしました】



用水路やため池では遊ばない！



8月まで各用水路は満水の状態となりますが、毎年各地で児童、児童の水路転落による痛ましい水難事故が発生しています。土地改良区でも用水路の危険箇所の事故防止対策と共に広報車等パトロールを通じ呼びかけておりますが、皆様方のご家庭でもお子様が水難事故に遭わないよう注意喚起をよろしくお願いいたします。

**水難事故防止のための  
注意をお願いします！**

## 土地改良区からのお願い・

### 組合員の資格喪失について

組合員の皆様で、次のような事由が生じましたら、ご面倒でも印鑑をご持参のうえ、土地改良区に届け出をお願いいたします。

- ◎ 農地の移動（売買、賃借等）
- ◎ 経営移譲
- ◎ 住所の変更
- ◎ 贈与・死亡による名義変更
- ◎ 公共用地買収、宅地化等による転用

### 農地転用決済金について

地区内にある農地を他の目的に転用又は公共事業等で買収された場合は、土地改良区に農地転用等の通知を提出すると共に、地区除外決済金を納入しなければなりません。

### 土地改良施設を大切に使用しましょう

近年、農作業機械・運搬車両の大型化が進んでいますが、用水路管理用道路又は農道を走行する際には、パイプライン・横断管等が埋設されている箇所もありますので、十分注意して通行されるよう、お願いいたします。

### 用水路に絶対ゴミ等を捨てないように

雑草、日用品で不用になつたもの、動物の死骸等々、大量にしかも人為的に投げ込まれております。このため、ゴミ揚げ作業に大変苦労しております。また、ゴミ詰まりが原因と見られる溢水や給水栓のゴミ詰まりなどの被害が発生しております。また、施設用地に古タイヤ等が捨ててあると土地改良区がその処分費を負担しきくてはいけません。ゴミなどは絶対捨てないようにお願いいたします。

### パイプライン用水路の管理について



1. 分水バルブ・給水栓の開閉は、開ける時も一度大きく開けて、ゴミ及び木片を流してから行つて下さい。
2. 給水栓を強く閉めると大切なゴムが破損したり、弾力がなくなり長持ちしなくなります。
3. 降水後は、特に多くのゴミが流入しますので注意が必要です。また定期的に排泥バルブを開き、ゴミを流してください。
4. ゴミが詰まり、水が出ない場合は給水栓のふたを取り外し、ゴミを除去してください。
5. 春の通水開始時は、排泥バルブを開け徐々に通水を行い、排泥バルブを閉めましょう。その後、給水栓のエアー抜きも同時に行つてください。エアー抜きは路線の関係者全員で行つてください。

## 本年は総代選挙が実施されます。

現第17期総代（定員35名）の任期（4年）が8月30日で満了となります。  
選挙の方法は、次のように行います。

### 1 選挙の行う総代の定数及び選挙区

選挙区	第1区	第2区	第3区
選挙区	東、協栄、日の出、北部の各管理区	新盛、南、中央、小藤の各管理区	新千代、南、西南の各管理区
定数	14人	10人	11人

### 2 候補者の立候補の届け出

(1) 届出の期間は、**8月16日・17日**の2日間です。

### 3 投 票

(1) 投票の期日は**8月23日**です。

(2) 投票の場所は、3選挙区とも秩父別町役場です。

(3) 当該選挙区における総代の候補者の数が定数を超えない時は投票を行いません。

## 役員改選

現第19期役員の任期（4年）が7月31日で満了となります。

役員定数は、理事7人・監事3人であり、選任に当たつて現在、北部管理区の田丸政彦総代が代表を務める推薦会議（委員10人）で役員候補者の推薦準備を始めています。  
なお、役員候補者は7月13日開催予定の第1回臨時総代会で諮られ、その後開催する理事長等互選会議を経て、第20期役員執行体制が8月1日から発足いたします。



【第2回推薦会議】

土地改良第2係長

**堀籠謙一**

（ほりごめ けんいち）  
（平成29年12月1日付）

・昭和54年1月14日生（満39歳）  
・帯広市出身  
・帯広農業高等学校卒



土地改良第1係

**北垣雄人**

（きたがき ゆうと）

（平成30年4月1日付）  
平成5年6月19日生（満24歳）

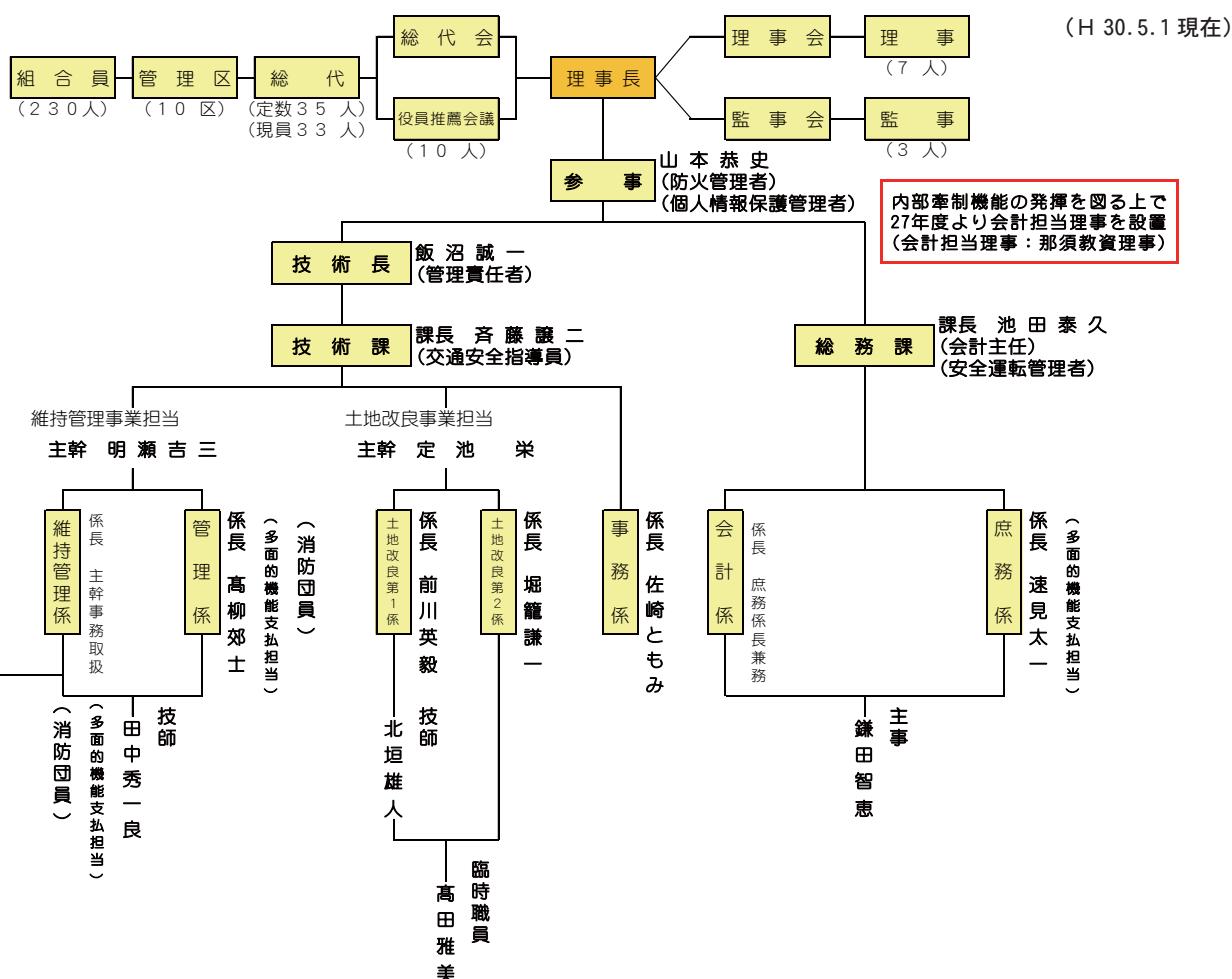
・秩父別町出身  
・深川西高等学校卒

**新規採用**

組合員の皆様  
よろしくお願いします



## 事務機構図



## 事務職員募集中!! (お知らせ)

秩父別土地改良区では、平成31年4月1日付けで事務職員1名を採用いたします。

現在、願書受付中で、応募条件、方法等は次のとおりです。

1. 採用日：平成31年4月1日
2. 採用条件：平成5年4月2日以降生まれの者  
4年生大学を卒業又は平成31年3月までに卒業見込みの者  
普通自動車免許取得または取得する者(AT限定不可)
3. 受付期間：平成30年5月25日まで
4. 提出書類：履歴書、成績証明書、卒業(見込み)証明書
5. 申込方法：秩父別土地改良区総務課まで提出書類を郵送または持参
6. 試験日：平成30年6月8日(金曜日)
7. 試験内容：筆記(常識)、面接、作文

詳しくは、水土里ネットちっぺつホームページをご覧下さい。

**URL <http://www.midori-chipbetu.jp/>**